

中小企業における ワクチン休暇導入の実例紹介

メディフォン株式会社
人事部

メディフォン株式会社（当社）について

概要

名称	メディフォン株式会社/mediPhone, Inc.
住所	東京都港区赤坂6-14-2 赤坂倉橋ビル3F
TEL	03-6426-5451
FAX	03-6426-5452
MAIL	info@mediphone.jp
運営開始	2018年6月
ミッション	「医療における言語障壁を解消する」
従業員数	41名（派遣・パート職員含む）
主要な業務	医療通訳事業、医療者向け研修事業、クラウド健康管理システム事業、その他関連事業
認証	[プライバシーマーク登録番号]第10840686(01)号
ホームページ	会社サイト： https://mediphone.jp/ サービスサイト： https://your.mediphone.jp/

MEDI + PHONE



沿革

- 2014年1月 一般社団法人ジェイ・アイ・ジー・エイチ(JIGH)にて事業を創業。医療機関向け「電話医療通訳サービス」の提供を開始。
- 2017年4月 「外国人患者受入れ医療コーディネーター研修」プログラムを開講。
- 2017年8月 医療機関向けスマートフォンアプリをリリース。
- 2018年4月 医療機関向け「ビデオ医療通訳サービス」の提供を開始。
- 2018年6月 JIGHよりメディフォン事業等の全てを譲受
- 2019年9月 外国人患者向け多言語医療機関予約代行サービス「FIND YOUR DOCTOR」をリリース
- 2020年4月 日本医師会医療通訳サービスの導入開始
- 2021年4月 クラウド健康管理システム「your mediPhone」をリリース



ワクチン休暇とは（当社の理解）

- ✓ 従業員のワクチンの接種がスムーズに進むように設ける「特別有給休暇」（「年次有給休暇」を使いたくない従業員もいるため、特別休暇が必要）
- ✓ 統一したルールがあるわけではなく、企業ごとに独自の制度を導入
- ✓ 主な目的は以下の2つ。
 - （1）円滑な接種の支援：平日日中の接種を可能にすることで早期接種・密回避。
 - （2）安心して接種できる環境の整備：副反応への対応。

ワクチン休暇に関する世の中の流れ（当社調べ）

当社で調べた結果、国内でのワクチン休暇の動きは今年3月から徐々に始まり、ゴールデンウィーク明け以降、大手の発表や政府から経済団体への要請で一気に拡がりが出てきています。

時期	動き
3月1日	日本生命プレスリリース
3月14日	インターネット番組での河野大臣発言「接種のための「ワクチン休暇」を取得できるよう経済界に働きかけていく」
3月中旬	一部先行企業（久保井インキ、エキストラ、東京メガネなど）プレスリリース
4月15日	コカコーラプレスリリース（大手が動き出す）
5月12日	ヤフープレスリリース（IT業界が動き出す）
5月13日	政府から経済4団体への要請（一気に広がる）
5月28日	国家公務員が「ワクチン休暇」取得可能と発表（人事院） 地方公務員にも同様の仕組みの導入に向けた対応を要請（総務省）

ワクチン休暇導入検討に至った理由

従業員のワクチン接種が進むことで経営上・対従業員・対顧客・対社会それぞれの観点で大きなメリット・必要性があることから検討に入りました。

- ✓ 従業員の感染・職場クラスター発生リスクの低下
(発生時の対応工数、業務への影響、従業員の安心)
- ✓ 各種制限等による仕事・業務への悪影響の低下
- ✓ 医療機関への出入り（特に営業職）に必須となる可能性
- ✓ 健康経営の一環
- ✓ 医療関連事業を行う企業としての社会貢献的意義
- ✓ 自社提供サービス（ワクチン接種状況把握機能）の活用が可能

ワクチン休暇のパターンの整理

導入済み企業の事例などを分析した結果、
制度の導入パターンを以下のように整理できました。

接種日の 対応	特別休暇扱い	その他	家族の接種日への対応
	就業扱い		家族の副反応への対応
副反応 による 休暇取得	半日		交通費支給
	1日		奨励金支給
	2日以上		

弊社では、これらのパターンの中からどれを選択するか
という考え方で検討を進めていきました。

当社の制度確定までの流れ

導入起案

経営企画室より起案→人事部で検討開始
→経営陣に意向確認。

他者事例分析 パターンの整理

導入済み企業の事例を収集し分析。パ
ターンの整理を行い、検討土台を固める。

接種意向アンケート 実施

接種意向アンケート(匿名)を実施。結果を
制度設計の参考にした。

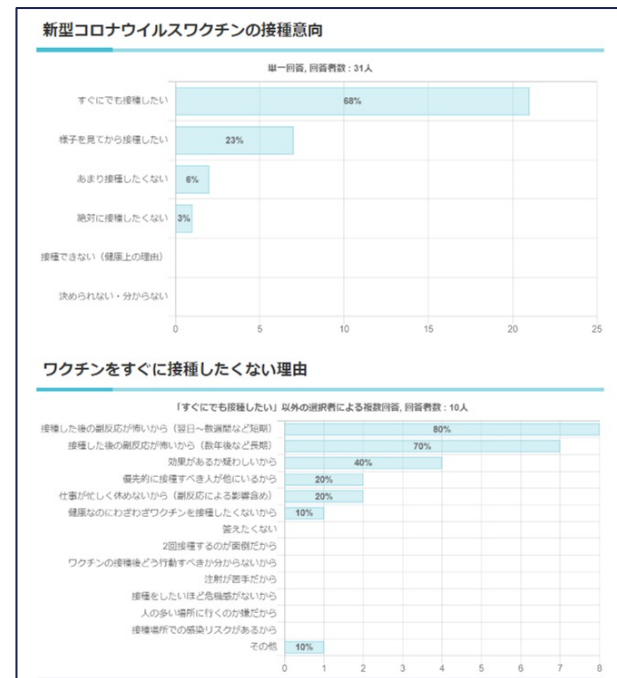
制度案・運用方法の 叩き作成

人事部担当者が案を作成し、担当役員と
ともに制度設計・運用方法の詳細を詰め
て行った。

経営陣の最終確認

経営陣の最終承認を経て、社内に周知を
行った。

意向アンケート結果



当社のワクチン休暇①

特別有給休暇「ワクチン休暇」を活用した積極的な接種を推奨すると示した上で、以下のような制度の運用を開始しています。

名称	2021年度 特別有給休暇「ワクチン休暇」
対象	従業員
対象期間	2021年6月21日（月）～2022年2月28日（月）（予定） ※政府が定める接種実施期間に準ずる。
内容	<ul style="list-style-type: none">従業員本人が新型コロナウイルス感染症ワクチンを接種する際、<u>接種当日1日間の「ワクチン休暇」</u>の取得を可能とする。接種後に副反応が認められる場合には「ワクチン休暇」を<u>追加で1日間取得可能</u>とする。接種にあたっての移動において、<u>公共交通機関による最安運賃の往復交通費</u>を支給する。<u>2回目の接種においても同様の取り扱い</u>とする。

当社のワクチン休暇②

特別有給休暇「ワクチン休暇」を活用した積極的な接種を推奨すると示した上で、以下のような制度の運用を開始しています。

留意点

- ・ 接種当日、就業可能な場合は就業して頂いて問題ございません。
就業開始時に各責任者にご一報ください。
(開発：**さん、その他：**さん)
- ・ チーム内で不在が二人以上被らないように調整お願いいたします。
(当日、接種日以降の副反応に備えて。)
- ・ 接種に関しては最終的には個人の判断を尊重いたします。
皆様におかれましては、接種されない方への配慮をお願いいたします。

当社のワクチン休暇の運用方法の詳細

特別休暇付与にあたっての申請手順は以下のようになっています。

- ① 各自で接種予約。
- ② 各自共有オンラインカレンダーに当該日の不在の旨を登録。各自チームメンバーに不在について事前連絡。
- ③ 勤怠システムにて、「ワクチン休暇」事後申請。（休暇取得日の翌日までに登録）
- ④ 接種のための交通費を申請する場合、接種日を含む月末締翌月初に立替交通費として備考欄に「ワクチン接種」と記載の上、申請。証憑として「接種の事実が分かる書類」を添付すること。

現在の制度に決まった理由

	検討項目	採用した理由
接種日の対応	特別休暇扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な勤務状況の把握が可能 ・ 当日の副反応発症時の安心材料となり、接種意向上を高めることが可能 <1日とした理由> <ul style="list-style-type: none"> - 接種所要時間の予想が立てづらい - 当日の副反応発生時の安心材料となり、接種意向上を高めることが可能
	就業扱い	
副反応による休暇取得	半日	副反応発症の可能性が高い20代～30代女性多く在籍 ※1日以上の場合有給消化
	1日	
	2日以上	
その他	家族の接種日/副反応への対応	接種対象の子どもがいる又は介護が必要な従業員が少ないため
	交通費支給	接種推奨するため支給

参考：パターンごとのメリット・デメリット（当社の理解）

	パターン	メリット	デメリット
接種日の対応	特別休暇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な勤務状況把握可能 ・ 当日の副反応に対する保険あり →接種以意向高め、接種ハードル下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤怠システム設定必要 ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
	就業扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤怠システム設定不要 ・ 人件費負担抑えられる ・ 業務調整容易 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な勤務状況の把握困難 ・ 当日の副反応に対する保険なし →接種意向下げ、接種ハードルを上げる
接種当日 (休暇の場合)	半日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務調整容易 ・ 人件費負担抑えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接種所要時間の予想が立てづらい ・ 当日の副反応に対する保険なし →接種意向下げ、接種ハードルを上げる
	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余裕を持った接種行動 ・ 当日の副反応に対する保険あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
翌日以降 副反応 発症時の対応	半日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務調整容易 ・ 人件費負担抑えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副反応の個人差への対応不十分 →接種意向下げ、接種ハードルを上げる
	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の副反応に対する保険あり →接種以意向高め、接種ハードル下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
	2日以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の副反応に対する保険あり →接種以意向高め、接種ハードル下げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
その他	家族の接種日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団免疫の効果高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
	家族の副反応時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団免疫の効果高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費負担 ・ 業務調整困難
	交通費支給	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接種意向高め、接種ハードル下げる ・ 接種会場を柔軟に選択可能 →接種率を上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用負担
	奨励金支給	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接種意向を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用負担

導入にあたって注意した点

ワクチン休暇については、初めての取り組みであったことから企業として推奨の立場をとることに決まってからも以下のような点に注意しながら導入を進めました。

- ① 従業員の健康・安全第一
- ② 柔軟な制度設計
- ③ 業務負担考慮（本人、所属長、人事にとって負荷が少ないよう運用決め）
- ④ プライバシーへの配慮（匿名性担保、周囲への配慮呼びかけ）

今後は、社内の接種率と専門家の意見を注視しながら企業活動をどのように正常化していくかを検討していきたいと思っています。

ご静聴ありがとうございました